

3.日本の川と平地

【課題】日本の川や平野には、世界と比べてどのような特色があるのでしょうか。

急で短い日本の川

〈日本の川の特徴〉

	日本一	世界一
長さ	(①)川 約367km	(②)川 約6695km
流域面積	(③)川 約1.7万km ²	(④)川 約705万km ²

○山から海までの距離が短い……(⑤)で(⑥)がせまい

○季節の変化……水量の変化が(⑦)

さまざまな地形が見られる平地

〈日本の平地と特色〉

(⑧)……海に面している平地	
(⑨)……山に囲まれている平地	
(⑩) ・平野や盆地のうち、一段高い台状の平地 ・おもに(⑪)として利用 台地や低地は、古くから人々の(⑭)の中心だった 台地と低地の境目は、かつて(⑮)を造る場所選ばれた	(⑫) ・おもに(⑬)として利用
(⑯) ・(⑰)が山間部から平野や盆地に出た所に土砂がたまって造られる ・(⑱)などに利用される所が多い。	(⑲) ・川の上流から運ばれてきた土砂が(⑳)付近に積もって造られる

【確認】平地でみられる次の三つの地形について、「川」という言葉を使ってそれぞれ説明しましょう。[①扇状地 ②三角州 ③低地]

①扇状地は、

②三角州は、

③低地は、

4. 世界から見た日本の気候

【課題】日本の気候は、世界と比べてどのような特色が見られるのでしょうか。また、日本の中では、地域によってどのような気候のちがいが見られるのでしょうか。

日本が属する温帯

- (①))気候……おもに地中海沿岸(ギリシャなど)
 ⇒夏に(②))し、冬に(③))が降る。
- (④))気候……おもに(⑤))の西岸(イギリスなど)
 ⇒(⑥))と(⑦))の影響
 ⇒(⑧))を通じて雨が降る
 ⇒(⑨))は緯度が高いわりには暖かい
- (⑩))気候……おもに大陸の(⑪))に多く見られる
 ⇒(⑫))や(⑬))の変化が大きい。
 ⇒(⑭))の()が属する

- ・(⑮))がはっきりしている……春夏秋冬
- ・(⑯)) [モンスーン]の影響で降水量が多い。
- ・(⑰)) ……降水量が多い時期(おもに5月～7月にかけて)
- ・(⑱)) や熱帯低気圧 ……夏から秋にかけて日本列島をおそう

地域によって異なる日本の気候

！教科書 151 頁の 5 日本の気候区分を参考にして、⑲と⑳を考え、そしてカッコ内に説明を書こう。

温帯	太平洋側(冬は晴が多い) 日本海側() 中央高地() 瀬戸内()
(⑲))	北海道の気候
(⑳))	南西諸島の気候

【確認】熱帯の密林、乾燥帯の砂漠、寒帯の極寒地域に住む人々が、6月に東京へ来たら、それぞれどんな感想を持つと思うか、理由をふくめて説明しましょう。

[熱帯の密林]

[乾燥帯の砂漠]

[寒帯の極寒地域]

5. 自然災害と防災への取り組み

【課題】日本で起こる自然災害にはどのような種類があり、それを防ぐために、どのような努力がなされているのでしょうか。

さまざまな自然災害

《地質現象が原因》

- (①))による被害
 - ・(②))……震源が海底の場合
 - ・(③))くずれや地盤の(④))
- (⑤))による被害
 - ・溶岩や(⑥))の噴出や(⑦))などによる被害

《気象現象が原因》

- 梅雨や台風による(⑧))
 - ・(⑨))や山くずれ、(⑩))などを引き起こす。
 - ・台風⇒強風や(⑪))
- 夏の低温⇒作物の生育が悪くなる(⑫))
- 雨が少ない年に起こる(⑬))
- (⑭))……日本海側や山岳地域で発生
- (⑮))……交通などの混乱や集落の孤立

被災地へのさまざまな支援

東日本大震災(⑯) 年 月 日発生)

- ・国、都道府県、市町村などが協力・連携
- ・派遣要請を受けた(⑰))による活動
- ・全国各地から自主的に集まる(⑱))による活動

防災対策と防災意識

- ・国や県、市町村の防災計画
⇒堤防などの整備、(⑲) [ハザードマップ]の作成
- ・住民の(⑳) ・)への取り組み
⇒災害に対する理解、防災活動への協力

【確認】自分の住んでいる地域で起こる可能性がある災害を一つ挙げ、どのような防災対策が説明しましょう。

<hr/> <hr/> <hr/>
